

平成23年度

教育委員会自己点検・評価
報告書



塩尻市教育委員会

目 次

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要・・・・・・・・・・ 1

平成23年度 事業部目標

こども教育部・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

生涯学習部・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

市民交流センター・・・・・・・・・・・・ 5

平成23年度 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

平成23年度 教育委員会の運営に関する評価・・・・・・・・・・ 11

平成23年度 事務事業評価 総括表・事業評価シート

こども教育部・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

生涯学習部・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

市民交流センター・・・・・・・・・・・・ 46

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

(1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

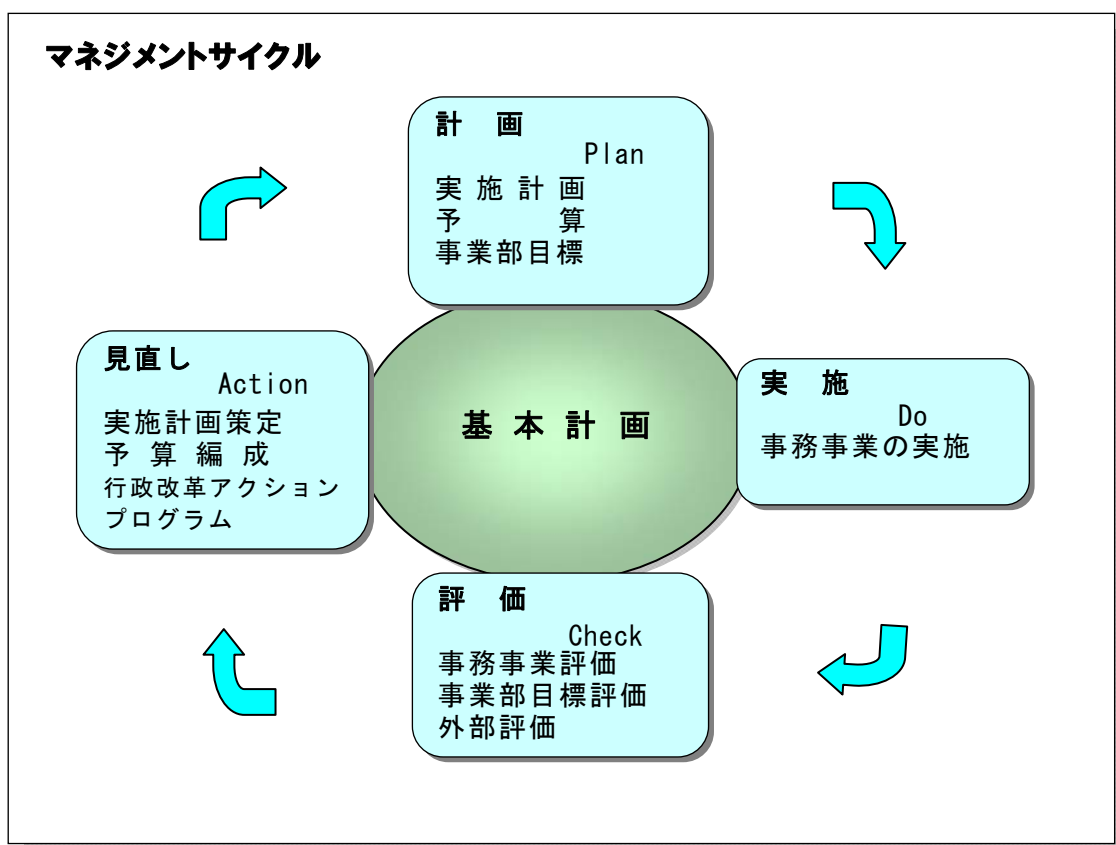
(2) 制度導入の目的

ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

イ 質の高い効率的な事務の実現

事業部目標に基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントリサイクル **Plan : 計画 → Do : 実施 → Check : 評価 → Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



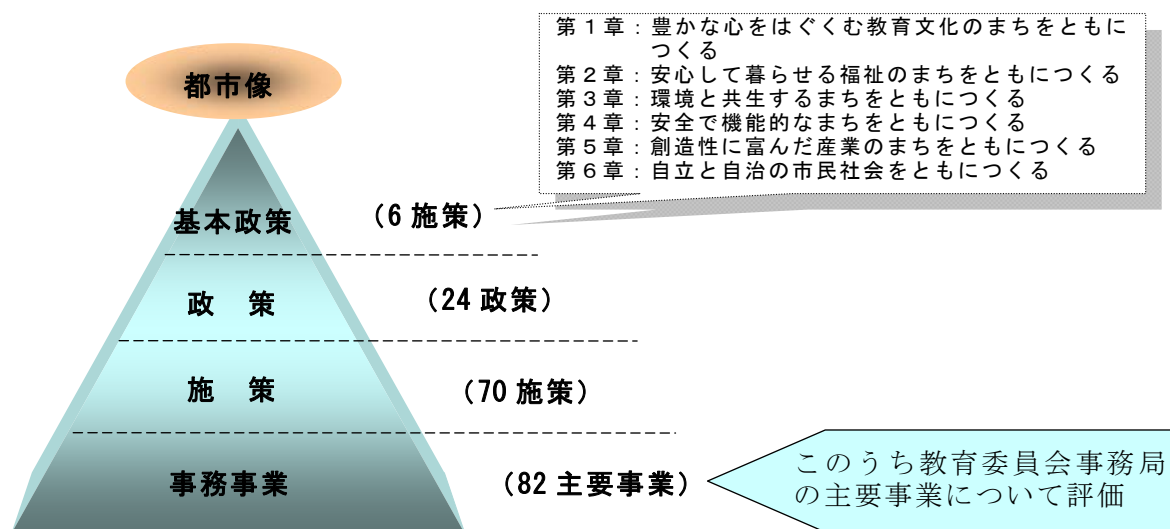
ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

(3) 評価対象事業

塩尻市が実施する事務事業評価を基本として活用し、主要事業 82 事業のうち、教育委員会（こども教育部、生涯学習部、市民交流センター）が所管する事業等および教育委員会の運営について自己点検・評価を行います。

【後期基本計画の施策体系】



(4) 評価のプロセス

塩尻市が実施した事業評価のうち教育委員会関係分を用い、施策を所管する担当課が、目標指標の達成度、事務事業の進捗状況や事業実施の成果等を総合的に判断して行った自己評価を基に、教育委員会が全体的な評価を確認し、意見を付しました。

平成23年度 部実施事業及び重点目標 ～目標設定シート～

事業部： ともども教育部
 事業部長： 平間 正治

I 使命（ミッション：毎年度設定）

No	ミッション	対応施策	施策統括
1	子どもたちの「生きる力」の育成を目指して、体験学習等の活動を促進し、時代に対応した特色ある学校教育を推進するとともに、総合的な学力の向上と個に応じた指導を進めるため、小集団学習の推進等、きめ細かな学習支援体制の充実を図ります。	1-2-1 特色ある学校教育をおこないます	●
		1-2-2 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します	●
		5-1-2 消費者と連携した農業を支援します	
2	子どもたちの、それぞれの状況や成長段階に応じ、幼保小中が連携した途切れのないきめ細かな就学の支援を行ない、全ての児童生徒への学習機会の提供と学校不適應対策を推進します。	1-2-2 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します	●
		6-4-1 総合的で効率的な広域行政をおこないます	
3	子どもたちが生活していくうえで必要な生活規律、社会規範やルールなどを身に着けるため、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域など関係機関が連携を図り、子どもの健全育成活動の充実を図ります。	1-2-3 地域とともに子どもたちの健やかな成長をささえます	●
		2-2-1 出産・子育ての不安と負担を減らします	
4	社会参加と育児の両立を支援するため、多様な保育ニーズに対応できる保育事業の充実をめるとともに、子ども達を健やかに育てることのできる家庭や地域の実現を目指して、子育て家庭の様々な負担を軽減し、地域ぐるみで子育てを支援する体制を整えます。	2-2-2 子育てと仕事の両立を支援します	●
		2-2-3 悩みを抱える家庭を支援します	●
5	子どもの教育やしつけに関する様々な不安や悩みを解消し、親が安心して子育てができるよう、個別の事情に応じたサービスを提供するとともに、家庭機能の充実に向けた支援に努めます。	2-2-1 出産・子育ての不安と負担を減らします	●
		2-2-3 悩みを抱える家庭を支援します	
6	ミッションに対応しない施策	1-1-1 人権意識を高め人権を守ります	
		6-3-2 開かれた市政をつくります	

II 行政資源（平成23年4月1日現在）

区分	職員数		
	正規職員	嘱託職員	他団体派遣
塩尻市全体	514人	373人	10人
ともども教育部	167人	256人	2人
比率	32.5%	68.6%	20.0%

予算		
種別	金額	単位
一般会計	3,464,692	千円
塩尻市奨学資金貸与事業特別会計	10,432	千円
	-	千円
	-	千円
	-	千円
総予算（計）	3,475,124	千円

平成23年度 部実施事業及び重点目標 ～目標設定シート～

事業部：生涯学習部
 事業部長：加藤 廣

I 使命（ミッション：毎年度設定）

No	ミッション	対応施策	施策統括
1	市民一人ひとりの個性と能力を尊重し、お互いの人権を認め合う思いやりにあふれた社会の実現を目指します。	1-1-1 人権意識を高め人権を守ります	●
		1-1-2 男女共同参画社会をつくりま	●
2	市民一人ひとりが主体的に、いつでも、どこでも学び活動することができるきっかけづくりをします。	1-3-1 生涯学習を支援します	●
3	市民一人ひとりが、健康で明るい生活をおくることができるよう、スポーツに親しめる環境をつくりま	1-3-2 スポーツに親しめる環境と機会をつくりま	●
4	生涯にわたり豊かでおおき文化をまもり、育てま	1-4-1 市民の芸術文化活動を支援ま	●
5	市内の優れた歴史・文化遺産の保護、保存をするとともに、積極的に活用を図りま	1-4-2 地域の歴史・文化をまもり活かしま	●
6	ミッションに対応しない施策		

II 行政資源（平成23年4月1日現在）

区分	職員数		
	正規職員	嘱託職員	他団体派遣
塩尻市全体	514人	373人	10人
生涯学習部	33人	12人	0人
比率	6.4%	3.2%	0.0%

予算		
種別	金額	単位
一般会計	844,257	千円
	-	千円
	-	千円
	-	千円
総予算（計）	844,257	千円

事業部： 市民交流センター
 事業部長： 田中 速人

I 使命（ミッション：毎年度設定）

No	ミッション	対応施策	施策統括
1	市民交流センターの基本コンセプト「知恵の交流を通じた人づくりの場」の実現を目指して、事業や活動を展開します。	1-3-1 生涯学習を支援します	
		4-2-2 市街地のにぎわいをつくります	
		6-1-3 市民公益活動を促進します	●
		6-1-4 市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します	●
2	市民の様々な生活課題に応えられる多機能型図書館として、また、塩尻ブランドを発信できる図書館として、資料の充実を図るとともに、利用者サービスを向上させ、老若男女が憩い、考える滞在型の図書館づくりを進めます。	1-2-1 特色ある学校教育をおこないます	
		1-3-1 生涯学習を支援します	
		6-1-4 市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します	●
3	市民サポーター組織（えんぱーくらぶ）との協働関係を構築するとともに、主体的な活動を支援します。	6-1-1 多様な主体の地域づくりへの参加と連携を支援します	
		6-1-3 市民公益活動を促進します	●
		6-1-4 市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します	●
4	未就園児保護者への支援事業の充実を図るとともに、市民と協働し、安心して子育てしやすい環境づくりを進めます。	2-2-1 出産・子育ての不安と負担を減らします	
		2-2-2 子育てと仕事の両立を支援します	
5			
6			

II 行政資源（平成23年4月1日現在）

区分	職員数		
	正規職員	嘱託職員	他団体派遣
塩尻市全体	514人	373人	10人
市民交流センター	19人	28人	0人
比率	3.7%	7.5%	0.0%

予算		
種別	金額	単位
一般会計	489,346	千円
	-	千円
	-	千円
	-	千円
総予算（計）	489,346	千円

平成23年度 教育委員会の活動状況

1. 教育委員

氏名	役職	任期
百瀬 哲夫	委員長	平成19年6月26日～平成23年6月25日
丸山 典子	同職務代理者	平成19年6月26日～平成23年6月25日
小澤 嘉和	委員長	平成23年6月26日～平成27年6月25日
渡辺 庸子	同職務代理者	平成23年6月26日～平成27年6月25日
田中 佳子	委員	平成21年7月1日～平成25年6月30日
石井 實	委員	平成22年6月22日～平成26年6月21日
御子柴 英文	教育長	平成20年6月27日～平成24年6月26日

2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案 件	
4月21日	4月定例	報告案件	平成23年度教育委員会事業部目標について 平成22年度中学校卒業生進路状況について〈非公開〉 要保護及び準要保護児童生徒の認定について〈非公開〉
5月19日	5月定例	議事案件	平成23年度塩尻市奨学生の選考について〈非公開〉
		その他案件	教育委員会関係補正予算(案)について
6月23日	6月定例	報告案件	市議会6月定例会報告について
6月27日	臨時	議事案件	教育委員長の選挙について 小澤嘉和教育委員長(任期 H23.6.26～H24.6.25) 教育委員長職務代理者の指定について 渡辺庸子教育委員長職務代理者(任期 H23.6.26～H24.6.25)
7月28日	7月定例	議事案件	平成23年度塩尻市奨学生の選考について〈非公開〉
8月18日	8月定例	報告案件	平成22年度教育委員会関係決算概要について
		議事案件	塩尻市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部を改正する規則 塩尻市体育指導委員規則の一部を改正する規則 平成24年度から使用する中学校用教科用図書の採択について
		その他案件	平成23年度教育委員会関係補正予算(案)について
9月22日	9月定例	報告案件	市議会9月定例会報告について
10月20日	10月定例	議事案件	教育委員会の自己点検・評価について
		その他案件	実施計画要望事業について〈非公開〉
11月18日	11月定例	報告案件	新体育館建設に関するアンケート調査結果について
		その他案件	教育委員会関係条例改正(案)について 平成23年度教育委員会関係補正予算(案)について 平成24年度教育委員会関係予算要求主要事業について〈非公開〉
12月15日	12月定例	報告案件	市議会12月定例会報告について
		議事案件	塩尻市奨学資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則
		その他案件	平成24年度教育委員会関係予算(案)重点施策について〈非公開〉
1月19日	1月定例	報告案件	平成24～26年度実施計画について
2月21日	2月定例	議事案件	塩尻市木曾平沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について 平成23年度全国学力・学習状況調査結果の公表について〈非公開〉
		その他案件	教育委員会規則等の改正(案)について
			教育委員会関係例規改正(案)について
			平成23年度教育委員会関係補正予算(案)について 平成24年度教育委員会関係予算(案)について 平成24年度教育委員会関係行事予定(案)について
3月23日	3月定例	報告案件	市議会3月定例会報告について 4月1日付人事異動内示について 校長・教頭の人事異動について 長野県公立高等学校入学者選抜の結果について〈非公開〉
		議事案件	塩尻市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 塩尻市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則 塩尻市元気っ子応援協議会設置要綱の一部改正〈教育委員会告示〉

3. 協議会

期日	協議事項
4月21日	塩尻市奨学金制度の見直しについて
5月19日	塩尻市奨学金制度の見直しについて 教育委員の退任・任命について
6月23日	塩尻市奨学金制度の見直しについて
7月28日	教育委員会の自己点検・評価について 平成23年度こんには教育委員会の開催について 平成23年度教育委員視察研修について
8月18日	塩尻市児童・生徒の不登校の状況について 市内小中学校に係る腐葉土の使用について 教育委員会の自己点検・評価について
9月22日	教育委員会の自己点検・評価について
10月20日	「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民活動に関するアンケート調査結果について 第1回こんには教育委員会の開催について 平成23年度教育委員視察研修について
11月18日	第1回こんには教育委員会の総括について 第2回こんには教育委員会の開催について 平成23年度教育委員視察研修について
12月16日	第2回こんには教育委員会の総括について 平成23年度教育委員会視察研修の総括について
1月19日	現地視察 榑川保育園新園舎、重伝建奈良井・木曾平沢保存地区 要保護児童の事例報告
2月18日	協議会の検討課題等について 小・中学校の卒業式・入学式について 平成24年度長野県市町村教育委員会連絡協議会研修総会の分散会テーマについて 小口益一氏寄贈版画について
3月25日	平成23年度「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果について 平成23年度の教育委員活動の総括と新年度の課題について

4. こんには教育委員会

11月2日 洗馬小学校 授業参観、グループ懇談
11月29日 丘中学校 授業参観、グループ懇談

5. 教育委員研修

11月24・25日 つくば市 小中一貫教育研究つくば市大会

6. 主幹指導主事学校訪問

5月17日 宗賀小学校	6月10日 広丘小学校
5月24日 塩尻西部中学校	6月28日 片丘小学校
5月25日 塩尻中学校	6月28日 吉田小学校
5月25日 洗馬小学校	7月11日 広陵中学校
6月1日 塩尻西小学校	7月13日 桔梗小学校
6月6日 丘中学校	10月25日 両小野中学校
6月6日 木曾榑川小学校	10月26日 塩尻東小学校
6月6日 榑川中学校	

7. 「広報しおじり」特集等記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	記事名
4月1日号	2	総務課	市民交流センターの運営について（ボイス&トーク）
5月15日号	1	市民活動支援課	協働のまちづくり基金
6月1日号	4	教育総務課	よりよい学校生活のために
6月1日号	1	社会教育課	塩尻市民芸術祭
7月1日号	2	教育総務課	こども未来塾
7月1日号	2	男女共同参画・人権課	「第三次塩尻市男女共同参画基本計画」
7月1日号	1	社会教育課	塩尻市民音楽祭
7月1日号	2	教育総務課	学校給食の食材について（ボイス&トーク）
9月1日号	2	スポーツ振興課	新体育館建設に関するアンケートを実施します
9月1日号	2	子育て支援センター	こども広場の小学生の利用について（ボイス&トーク）
9月15日号	2	社会教育課	短歌の里しおじり
10月1日号	4	教育総務課	給食の力
10月15日号	1	こども課	保育園入園手続きのご案内
10月15日号	1	社会教育課	塩尻市民文化祭
11月1日号	2	教育総務課	両小野小中一貫教育
11月1日号	2	子育て支援センター	子育て支援について（ボイス&トーク）
12月1日号	2	男女共同参画・人権課	人権週間ー考えよう、みんなの権利ー
12月1日号	0.5	スポーツ振興課	新体育館に関するアンケートを実施しました（イチオシ市政ニュース）
2月15日号	2	社会教育課	短歌フォーラムin塩尻「学生の部」入選作品発表 31文字に思いを込めて
3月1日号	1	教育総務課	平成23年度学力テスト
3月1日号	1	教育総務課	学校給食の放射線対策について（ボイス&トーク）
4月～11月	毎月1日号	総務課	fromえんぱーく
12月～3月	毎月1日号	総務課	えんぱーくカレンダー
4月～3月	毎月1日号	レザンホール	レザンホールへ行こう

8. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
4月17日	市民活動支援課	さくらフェスタ2011
4月24日	総務課	「駒崎弘樹」働き方革命講演会
5月22日	スポーツ振興課	第36回塩尻市小中学生陸上記録会 (第6回中信地区小学生陸上競技大会予選)
5月29日	平出博物館	第8回ひらいで遺跡まつり
5月29日	中央公民館	塩尻市公民館研究集会
5月31日	総務課	来館者50万人達成記念セレモニー
6月10日 ～12日	社会教育課	塩尻市民芸術祭
6月12日	総務課	木育フェスティバルinしおじりプレイベント「モンゴルへの誘い」
6月18日	男女共同参画・人権課	男女共同参画推進交流会
6月19日	スポーツ振興課	第21回スポレクバイアスロン大会
6月19日	家庭教育室	「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民の集い
6月26日	総務課	スタジオジブリ企画「フレデリック・バック講演会」
6月28日	男女共同参画・人権課	女と男21世紀セミナー「井戸端会議」
7月3日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学
7月7・8日	総務課	理科読研修
7月9日	総務課	ライブラリーコンサート
7月10日	社会教育課	第7回塩尻市民音楽祭・管弦楽発表
7月16日	塩尻短歌館	第17回「短歌と書」企画展開会式
7月16日	スポーツ振興課	第52回塩尻市民体育祭夏季大会開会式
7月17日	スポーツ振興課	第52回塩尻市民体育祭夏季大会
7月23日	男女共同参画・人権課	男女共同参画基本計画策定記念事業講演会
7月24日	総務課	子育て支援センターありがとう1周年「おいでおいでまつり」
7月31日	総務課	辰巳琢郎講演会
8月1・2日	家庭教育室	「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」合宿
8月3・4日	家庭教育室	塩尻市内小中学校 特別支援教育研修会
8月6日	総務課	スタジオジブリ企画「コクリコ坂から」講演会
8月6・7日	総務課	えんぱーくアートフェスタ「Shiojiring」
8月7日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学
8月8日	教育総務課	劇団四季「こころの劇場」塩尻公演
8月11日	総務課	腕時計組立体験
8月12日	総務課	甲子園初出場・東京都市大学塩尻高等学校試合観戦
8月20・21日	総務課	ガリレオ工房サイエンスイベント・「さあはじめよう理科読」& 「大科学実験」・星のおはなし会
8月27・28日	社会教育課	第7回塩尻市民音楽祭・バンド発表
9月4日	社会教育課	第7回塩尻市民音楽祭・コーラス発表
9月17日 ～19日	総務課	木育フェスティバル
9月24日～	総務課ほか	読み聞かせ育成講座(全3回)
9月25日	スポーツ振興課	第3回塩尻ぶどうの郷ロードレース
10月1日	社会教育課	第25回全国短歌フォーラムin塩尻
10月2日	ふれあいプラザ	第27回ふれあいプラザまつり
10月2日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学
10月2日	総務課	えんぱーくまつり

10月16日	社会教育課	第6回塩尻市民洋楽舞踊フェスティバル
10月22日	男女共同参画・人権課	長野県男女共同参画フェスティバル2011in塩尻
10月28日	教育総務課	吉田小学校創立30周年記念式典
11月1日 ～3日	社会教育課	塩尻市民文化祭
11月10日～	スポーツ振興課	市民健康体力づくり教室（ボクシングフィットネス講座）全4回
11月12日～	総務課・図書館ほか	読み聞かせ交流会（全4回）
11月13日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学
11月26日	社会教育課	第25回全国短歌フォーラムin塩尻「学生の部」
12月3日	スポーツ振興課	市体育協会10周年記念事業
12月3日	教育総務課	こども未来塾「中学生リーダー研修」
12月3日	社会教育課	重要文化財 小野家住宅修理工事見学会
12月4日	総務課	えんぱーくクリスマス2011
12月11日	社会教育課	第5回塩尻市民演劇フェスティバル
12月23日	総務課・図書館	「アラわそう！しおじりのカタチ～アラジオプロジェクト～（クリスマスイベント編）」
1月5日	社会教育課	第46回新春書初め大会
1月8日	社会教育課	平成24年 塩尻市成人式
1月20・21日	総務課ほか	未来のえんぱーくを創ろう会
1月21日	スポーツ振興課	第52回塩尻市民体育祭冬季大会スケート競技会 第32回塩尻市・朝日村ジュニアスケート競技会
1月27日	総務課	はじめよう！ワールドカフェしおじり
1月28日	総務課	介護者支援セミナー
1月31日	スポーツ振興課	社会体育指導者のためのスキルアップ講座①
2月4日	総務課	諏訪東京理科大学出前講座
2月5日	スポーツ振興課	第13回キンボール交流大会
2月10・11日	総務課	理科読研修
2月11日	こども課・市民活動支援課	春待ち交流会inえんぱーく「広げよう子育ての輪」
2月11日	総務課	食の安心と安全を考える市民交流企画「すすめよう地産地消！食べよう地元野菜！」
2月12日	塩尻短歌館	第17回短歌の里百人一首大会
2月14日～	スポーツ振興課	ピラティス講座全4回
2月20日	スポーツ振興課	社会体育指導者のためのスキルアップ講座②
3月10日	総務課	地域防災講座
3月11日	総務課	知恵の交流を通じた人づくり講演会
3月11日	社会教育課	早春のつどい
3月17日 ～20日	総務課	みんなで作るえんぱーく美術館
3月18日	スポーツ振興課	スポーツ講演会
3月25日 ～30日	教育総務課	ふくしまキッズ信州塩尻プログラム

I 評価対象施策

	教育委員会の運営	施策統括	こども教育部
		担当部課	教育総務課
現 状	教育行政をめぐる諸課題は、時代の変化の中で多様化、深刻化しており、課題への対応をする上で教育委員会の果たすべき役割は、その重要性を高めている。		

II 施策の展開

(1) 主な事業内容

主な事業	内 容
教育委員会会議の開催	●教育委員会の会議(定例会・臨時会)を開催
教育課題の把握と提言	●学校教育および社会教育の現場訪問および研修
開かれた教育委員会	●教育行政に関する情報の市民への公表

(2) 23年度の主な事業内容

- ①教育委員会の定例会を毎月開催、臨時会および協議会を必要に応じ開催し、教育行政の諸施策についての基本方針、学校教育・社会教育の重要施策に関し審議し決定した。
- ②審議に当たっては、学校教育および社会教育の現場訪問を十分に行い、諸課題の内容の把握に努めるとともに、上部団体等が開催する研修会、独自の視察研修などの機会を捉えて先進事例等の情報や知識の収集に努めた。
- ③開かれた教育行政運営のため、会議の開催状況や審議内容などにつき、市民への公表に努めた。

III 23年度における施策の評価

(1) 23年度における成果

- ①定例会12回、臨時会1回および協議会13回を開催し、審議した議事案件14件、報告案件50件、その他案件12件などであった。
- ②学校教育では、各小中学校への学校訪問、こんにちは教育委員会2校のほか、運動会、文化祭などの学校行事などに参加した。社会教育では、短歌フォーラム、市民芸術祭・文化祭などの芸術文化事業や平出遺跡祭りなどの文化財を活用した事業、人権・男女共同参画の啓発イベント、スポーツイベントなどに参加し、生涯学習活動の成果と課題の把握に努めた。また、県市町村教育委員会連絡協議会等主催の研修会への参加、組合教育委員会との合同による視察研修を実施した。
- ③教育委員会会議等の傍聴者は少なかったが、ホームページ掲載による会議録の公表を行った。

(2) 内部評価

教育委員会活動の活性化と開かれた教育委員会の運営について、継続的な取り組みが必要である。特に「開かれた教育委員会の運営」については、塩尻市行政アクションプログラム2012の最重点項目に位置づけて取組み、ホームページのリニューアルにより、掲載事項の充実及び迅速な情報更新に努め、一定の成果をあげたので、市民に分かりやすい情報提供をはかり、市民の教育行政に対する理解と関心を高めていきたい。

(3) 教育委員の評価・意見

教育委員会及び学校に対する市民の信頼感を高めるため、県教委ほか関係機関を含めた連携強化を進めるとともに、市民意見の聴取などに努めることが必要である。また、中長期的な教育施策の展開に向けて、教育振興基本計画の策定に向けて取組まれたい。

平成24年度事務事業評価(平成23年度実績)

総括表

主要事業数

課等名	主要事業数
教育総務課	5
こども課	2
家庭支援室	1
計	8

今後の方針

事業の方向性	主要事業数
1:継続(現状)	2
2:継続(拡大)	4
3:継続(縮小)	
4:他事業と統合	
5:休止・廃止	2
6:その他見直し	
計	8

こども教育部

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	5475 檜川保育園建設事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともにつくる				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間	平成22年度～平成23年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-xxxxxx-xx0000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	檜川				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
【実施計画事業】老朽木造保育園の改築により安全性を確保し、あわせて自然エネルギー活用設備を導入する。			働きながら子どもを育てている人が、安心して社会活動のできる環境づくりをめざす。		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> ・老朽保育園の改築 ・太陽熱利用設備の導入 		
問題点・課題等			事業効果		
地域の実情と保育要望を踏まえた施設規模の決定。			<ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズに対応できる施設の整備ができた。 ・改築により耐震性が高い安全な施設が確保できた。 ・太陽熱利用により暖房燃料費が縮減された。 		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

	単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	千円	0	0	229,252	0	
	内訳	千円			工事費	
			0	0	221,424	0
			0	0	監理委託料	0
			0	0	2,467	0
			0	0	その他	0
			0	0	5,361	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	3,580	0	
正規職員	人千円	0	0	0.5	3,580	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	232,832	0	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	66,600	
	地方債	千円	0	0	157,200	
	その他	千円	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	9,032	
	合計	千円	0	0	232,832	0

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 老朽保育所の環境改善のため榑川保育園の改築工事を行いました。
 - ◇旧園舎解体の後、延べ床面積499.38㎡の木造園舎と送迎用駐車場を整備しました。
- 木造園舎建設にあたり、県の木造公共施設整備事業の補助金交付を受けました。
 - ◇県産材の活用により補助金60,000千円が交付されました。
- 太陽熱利用設備の導入により快適な保育環境が得られ、暖房燃料費も縮減できました。
 - ◇前年度同時期比較で灯油使用量が減少しました。
- 木のぬくもりと香りがする園舎であると、保護者にも好評であり、園児の豊かな感受性が育まれる施設となりました。
 - ◇平成24年度園児数55名（平成23年度49名 いずれも4月1日現在）

4. 内部評価

- 老朽施設の改築により保育所施設の地域格差を是正できました。
- 耐震化が図られた新園舎になり、安心して保育が出来る環境となりました。
- 太陽熱の暖房利用により、快適な保育環境を確保することができました。
- 県、市が推進する木造公共施設整備事業の良好な施工例として内外にアピールできるものとなりました。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の 方向性		1:継続(現状)	《判断理由》 平成23年度で事業が完了しました。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
	○	5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

・県産材の活用による木造建築、太陽熱利用の導入、進入路の変更など、地域性を考慮した利用しやすい園舎建設は、時代の要請や地域住民の要請に応えた内容であり評価できます。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	228 「笑顔で登校」推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	02 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します				
事業期間	平成23年度～平成26年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100102-180000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
<p>【実施計画事業】 小中学校の不登校傾向児童生徒に対し、個々の状況に応じたきめ細かなフォローや未然防止策を、関係機関が連携し合い包括的に推進し、不登校の改善を図る。 ○心理テストQ-Uの実施（中学校1学年、年2回） ○塩嶺体験学習の家を活用した体験学習実施 ○子と親の心の相談員の配置</p>			<p>不登校の未然予防と状況改善を図ることにより、平等な教育機会を提供し、確かな学力を確保するなど、児童生徒の健やかな成長を促進する。</p>		
問題点・課題等			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校傾向要因の多様化 ・包括的な支援体制の確立 			<ul style="list-style-type: none"> ・心理テストQ-Uの実施（中学校1学年、年2回） ・塩嶺体験学習の家を活用した体験学習実施 ・子と親の心の相談員の配置 		
問題点・課題等			事業効果		
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校傾向要因の多様化 ・包括的な支援体制の確立 			<p>平成23年度は、前年度から不登校児童生徒が4人減少し、小中学校合計で24人となり、長野県下で良好な状況にある。</p>		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	0	339	2,061	
		千円		0	0	消耗品費	臨時職員賃金
				0	0	289	1,348
				0	0	その他	消耗費費
				0	0	50	597
				0	0	0	その他
				0	0	0	116
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
	0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	13,750	13,750		
正規職員	人千円	0	0	1.25	8,950		
嘱託職員	人千円	0	0	2	4,800		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	0	14,089	15,811		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	168	1,029	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	13,921	14,782	
	合計	千円	0	0	14,089	15,811	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

○県教委派遣の指導主事を中核に、学校、家庭、行政、関係機関等が包括的できめ細かに不登校傾向等の学校不適応児童生徒を支援する体制(塩尻モデル)を確立しました。

◇毎月1回関係者連絡調整会議実施、独自の学校月次報告書作成・活用、ケース会議随時開催

◇いじめ、暴力行為件数は前年度水準を維持(H22 17件→H23 18件)

◇小中学校の問題行動等報告件数の減少(H22 80件→H23 48件)

○中間教室(高ボッチ教室)の分室を総合文化センター内に新設し、受け入れを拡大するなど、不登校傾向児童生徒の学校復帰に向けた取組みを強化した結果、目覚ましい成果を上げました。

◇中間教室在籍児童生徒全員がH24年度までに学校復帰(小学生6人全員、中学生6人全員)

◇小学生不登校児童数の減少(H22 8人→H23 7人)

○中学校1年生全員に、Q-Uアンケート(学級満足度調査)を実施したほか、アンケートの分析、活用研修会を教職員対象に3回開催し、学級経営に生かす取組みを行うなど、中1ギャップ解消に努めました。

◇中学生不登校生徒数の減少(H22 20人→H23 17人)

○初の取組みとして、塩嶺体験学習の家を活用し、不登校傾向児童生徒を対象とした体験学習会を実施しました。体験学習や他校との交流、不登校経験のある高校生のアドバイスなどから、よい刺激を受け自信を深めることができ、登校状況や生活習慣の顕著な改善が見られました。

4. 内部評価

○不登校児童生徒の在籍率は長野県下で最も低い水準にあり、良好な状況となっています。

○指導主事をコーディネート役とした支援体制が確立し、児童生徒の不登校対策や学校不適応対策といった平等な教育機会の提供に留まらず、平穏で良好な学校環境が保たれ、波及効果は家庭支援にまで及ぶなど、高い評価を下すものです。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 不登校要因が多様化するとともに、低年齢化が進んでいます。今後は、元気っ子応援事業と連動するなど、小学校の不登校対策を強化することにより、未然予防を図っていく必要があります。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

・不登校対策・学校不適応対策としてきめ細かな支援体制の整備により、塩尻モデルの確立ともいえる評価が高い事業です。

・QUアンケートについては、取組みに対する学校間の温度差も感じます。教員の評価ではなく、学級の状況を理解するための手段であるということ、教員全員で共通理解することが必要です。

・家庭への支援については、家庭内での課題の把握に努め、状況に応じた取組みが必要です。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	192 塩嶺体験学習の家運営諸経費			
総合計画	第四次塩尻市総合計画			
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる			
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ			
項	03 地域とともに子どもたちの健やかな成長をささえます			
事業期間	平成23年度～平成26年度	新規/継続	継続	
会計区分	一般	予算科目	1-100106-010000	
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位 0
地区	全市			
法令等条項				
全体事業概要		事業目的		
【実施計画事業】様々な体験学習プログラムで構成する「こども未来塾」を年間を通じ展開し、児童生徒の生きる力をはぐくむ。 ○小中学生リーダー研修 ○中学生通学合宿 ○早ね早おき朝ごはん・どくしょ合宿 ○小学校体験学習		様々な体験学習プログラムで構成する「こども未来塾」を年間を通じ展開し、児童生徒の生きる力をはぐくむ。		
		事業内容		
		○小中学生リーダー研修、中学生通学合宿 ○早ね早おき朝ごはん・どくしょ合宿 ○小学校体験学習		
問題点・課題等		事業効果		
・専門インストラクター配置など人的措置		中学生通学合宿を経て、新学級が円滑に運営することができた。また、リーダー研修の成果を各学校行事等に生かすことができた。		
部名	40 こども教育部	課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

	単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	千円	0	0	6,918	10,990	
内訳	千円	0	0	臨時職員賃金 1,458	臨時職員賃金 2,558	
		0	0	こども未来塾運営委託料 1,281	こども未来塾運営委託料 2,310	
		0	0	その他 4,179	その他 6,122	
		0	0	0	0	
		0	0	0	0	
		0	0	0	0	
		0	0	0	0	
		0	0	0	0	
		0	0	0	0	
人件費等	千円	0	0	3,580	3,580	
正規職員	人千円	0	0	0.5	3,580	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	10,498	14,570	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	
	その他	千円	0	0	1,365	1,654
	一般財源	千円	0	0	9,133	12,916
	合計	千円	0	0	10,498	14,570

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 周辺施設や地域、関係団体で構成する塩嶺活性化協力会やNPO団体等との連携を図り、専門のホームページや広報紙、テレビ等を使い、周到的な周知宣伝活動を行った結果、目標を大きく上回る利用実績となりました。
- ◇宿泊・日帰り利用者合計2,569人…前年度の2.1倍、1,370人増(H22 1,199人)
- 新たに、市内の小中学生を対象とした「こども未来塾」を開講し、四つの異なるプログラムを年間を通じて展開し、全小中学校15校の児童生徒が、体験学習を通じて生きる力をはぐくみました。
- ◇小中学生リーダー研修…4回開催、小中学校15校の95人が参加
- ◇中学生通学合宿…1回開催2泊3日、両小野中1年生33人が参加
- ◇早ね早おき朝ごはん・どくしょ合宿…1回開催1泊2日、吉田地区子ども会等34人が参加
- ◇小学生体験学習…3回開催、吉田小、木曾檜川小など65人が参加
- 東日本大震災の被災者支援として、夏休み中の一般家庭や、NPOとの連携による小学生(ふくしまキッズ)を積極的に受け入れました。
- ◇福島市の5人家族 8月 4泊5日
- ◇ふくしまキッズ32人 3月 5泊6日

4. 内部評価

- サークルやスポーツ団体など施設規模に合致した利用が堅調だったほか、体験キャンプやゴルフ合宿など、周辺の施設とタイアップした利用促進を予想以上に図ることができ、相乗効果を発揮しました。
- こども未来塾は、一部運営をNPO団体に委託したほか、オリジナルの体験学習メニューを充実させた結果、円滑な事業展開ができました。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の方向性		1:継続(現状)	《判断理由》 平日の利用を促進するため、生涯学習施設としての機能を強化していきたいと考えています。そのため、様々な体験学習の指導者のネットワーク化を図ることにより、多彩な体験学習メニューをそろえ、幅広い年齢層にターゲットをシフトしていきます。
	○	2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・市民参加のプランナーなどを活用した体験メニューづくりにより、オリジナルメニューの拡大を図り、体験学習の必要性や効果などの理解を促進することにより、市内全域での体験学習の広がりを期待します。
- ・関係団体との連携により、事業の充実が図られており評価できます。信州大学・松本大学等との連携を取り入れるなど、一層の充実に向けた取組みを期待します。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	5476 宗賀小学校大規模改修事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	90 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
項	90 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくります				
事業期間	平成22年度～平成23年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-xxxxxx-xx0000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	宗賀				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
【実施計画事業】老朽化する学校施設の大規模改修に併せて、「スクール・ニューディール」構想に基づき太陽光発電設備の導入やトイレの洋式化などリニューアルを図る。			児童生徒がのびのび、活発に快適な学校生活を送れるように、施設環境の向上を図る。		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外装、屋根の改修工事 ・太陽光発電設備の導入 ・トイレ環境の改修 		
問題点・課題等			事業効果		
建物本体の改修に留まり、設備面での改善が果たせていない。			<ul style="list-style-type: none"> ・明るく快適な学習環境が整備できた。 ・自校での発電結果を目にすることで、児童の環境教育が一層推進できた。 		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額		
事業費		千円	0	0	173,775	0		
	内訳	千円		0	0	工事費	171,308	0
				0	0	監理委託料	2,467	0
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0
	人件費等	千円	0	0	3,580	0		
正規職員	人千円	0	0	0.5	3,580	0		
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0		
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	0	177,355	0			
財源	国庫支出金	千円	0	0	61,321	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	101,000	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	0	15,034	0		
	合計	千円	0	0	177,355	0		

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 老朽校舎及び体育館の環境改善のため宗賀小学校の内外装の改修工事を行いました。
 - ◇屋根や外壁のひび割れからの雨漏りを防止、内装の改修により明るく快適な学習環境を整備しました。
- 太陽光発電設備を設置し、学校のエコ化、環境教育を推進しました。
 - ◇最大出力19.4kWの太陽光発電設備を設置し、校内モニターにより日々の発電状況を示すことで、児童が太陽光発電を身近なものとして学習することができました。
- トイレの洋式化、内装の改修を行いました。
 - ◇児童の生活スタイルにあった便器の洋式化と、一部残っていた汲み取り便所（屋外便所）の水洗化が果たせました。

4. 内部評価

- 屋根や外壁のひび割れからの雨漏りを防止し、内装の改修による明るく快適な学習環境が整備できました。
- エコ化事業を実践することができ、環境教育の向上が図られました。
- 一部汲み取り式であったトイレも改修により全て水洗化となり、衛生環境の向上が図られました。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の 方向性		1:継続(現状)	《判断理由》 平成23年度で事業が完了しました。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
	○	5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・校舎内が明るくなるなど、学習環境の改善に大きな効果が見られました。
- ・引き続き計画している学校においても、トイレの洋式化などバリアフリーに配慮した改修工事や太陽光発電設備の導入を積極的な実施を期待します。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	332 中学校30人規模学級導入事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章 節 項	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
	01 特色ある学校教育をおこないます				
事業期間	平成23年度～平成27年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100301-130000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
【実施計画事業】 平成24年度から完全実施される新学習指導要領に対応し、生徒の個に応じたきめ細かな指導の充実や学力の向上を図るとともに、不登校や生徒指導、学級運営といった課題に対応するため、30人規模学級を中学校2学年に拡大する。			新学習指導要領に対応し、生徒の個に応じたきめ細かな指導の充実や学力の向上を図るとともに、不登校や生徒指導、学級運営といった課題に対応する。		
			事業内容		
問題点・課題等			事業効果		
教職員の確保、配置			23年度に実施した学校では、比較テストの得点が向上するなど、学力面で成果が出ている。落ち着いた学級運営やきめ細やかな生徒指導にもつながっている。		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	内 訳	千円	0	0	841	3,654	
		千円		0	0	841	3,309
				0	0	0	345
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
	0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	716	3,116		
正規職員	人千円	0	0	0.1	716		
嘱託職員	人千円	0	0	0	1		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	0	1,557	6,770		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	3,309	
	一般財源	千円	0	0	1,557	3,461	
	合計	千円	0	0	1,557	6,770	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

○県下に先駆け、国の計画より3年前倒しで、中学校1学年に30人規模学級を導入しました。
 ◇全体で3学級増(丘中、広陵中、塩尻西部中)

○増加教室は空き教室を転用し、県の加配教員を充てるなど経費の節減に努めました。
 ◇必要経費841千円(デジタルテレビ、机椅子、ストーブなど教室備品)

○学級増の3校の学力面、学校生活面を検証したところ、顕著な成果が見られました。
 ◇比較問題を活用した考察テスト平均点が3校とも上昇(5教科合計平均点が21点～48点上昇)
 ◇平均欠席日数(4月～7月)がおおむね減少(広陵中、塩尻西部中で減少)
 ◇10日以上欠席生徒数(4月～7月)が3校合計で減少(計9人減少)

4. 内部評価

○小学校では全学年に30人規模学級を導入済みであり、少人数・小集団学習が定着するなか、中学校1学年にも導入したことにより、中1ギャップの解消に大きな効果を発揮しました。また、新学習指導要領完全実施とリンクし、タイミングのよい導入であったものと評価しています。

○費用対効果も優れたものと評価しています。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の方向性		1:継続(現状)	《判断理由》 導入1年目から、学力向上面や不登校等学校不適應の解消に顕著な成果がありましたので、対象学年を拡大していく予定です。
	○	2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

・30人規模学級の導入により学力向上、不登校対策、生徒指導面などで成果が現れています。引き続き3学年への拡大は不可欠であり、実現に向けて県教委への働きかけを強めることが必要です。

・教員の意識向上、資質向上につながるような制度として定着を図り、成果をあげていくことが望まれます。

平成24年度 事業評価シート（平成23年度実績）

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	620 児童福祉事務補助金				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030201-040000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	未設定				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
社会福祉法人立の保育園の施設整備及び認可外保育所の運営を支援することにより、児童福祉の向上に寄与します。			社会福祉法人立の保育園2園の施設整備及び認可外保育所の運営を支援します。		
問題点・課題等			事業内容		
「保育園は公立」という既成概念を捨て、「民間保育園の独自の保育方針」等の魅力をPRして、双方の良さを理解してもらう必要があります。			社会福祉法人立の保育園2園への施設整備補助金及び認可外保育所への運営費補助金の交付		
問題点・課題等			事業効果		
「保育園は公立」という既成概念を捨て、「民間保育園の独自の保育方針」等の魅力をPRして、双方の良さを理解してもらう必要があります。			民間活力を活かした魅力ある保育により多様化する保育需要に応えることができ、将来的には、公立保育園が減ることで保育所運営費の減額につながります。		
部名	40 こども教育部	課名	20 こども課		

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	0	230,727	108,244	
		千円		0	0	保育所整備補助金	保育所運営費負担金
				0	0	227,275	100,940
				0	0	民間保育事業補助金	認可外保育事業補助金
				0	0	3,452	7,304
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
		人件費等	千円	0	0	4,296	4,296
正規職員	人千円	0	0	0	0.6	4,296	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	235,023	112,540		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	29,579	
	県支出金	千円	0	0	153,243	37,551	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	40,691	
	一般財源	千円	0	0	81,780	4,719	
	合計	千円	0	0	235,023	112,540	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 保育園新設のため、2つの社会福祉法人に対し、施設整備に要する費用の一部の補助を行いました。
- ・サン・サン保育園 グレイスフル塩尻
定員 60人 延床面積 907.84㎡ 補助金額 86,643,000円
 - ・よしだ保育園
定員 105人 延床面積 721.97㎡ 補助金額 140,632,000円
- ◇保育所新設整備については、民間活力を活かした魅力ある保育により、多様化する保育需要に応える準備を整えることができました。
- 乳幼児を受け入れている認可外の民間保育所に対し、運営に要する費用の一部の補助を行いました。
- キッズワールド(松本市) 利用者10人(0歳児3人、1～2歳児6人 3歳児1人)延べ72人
補助金額 3,452,143円
- ◇認可外保育所については、安定した運営の支援と保護者の負担の軽減を図ることができました。

4. 内部評価

- 社会福祉法人による保育所新設整備を支援し、民間活力を活かした魅力ある保育により多様化する保育需要に応え、将来的には付近の老朽化した市立保育園を廃止、又は定員を縮減して改築をする準備を整えることができました。
- 認可外保育所での延長保育、夜間保育等のサービスは、認可保育所では対応できない保護者ニーズに十分応えています。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の 方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 認可保育所2園については、法定の支弁費、特別保育に対する負担金等を交付し、保育所の継続的な運営を支援していきます。 認可外保育所については、キッズワールド、新規開設の「自然ランド・バンバン」に対しても補助金を交付し、安定した運営と保護者の負担軽減を図ります。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

・民間保育園の参入により、利用者の選択肢が広がることを期待できます。認可外保育所への支援についても、認可保育所では対応できないサービスの提供につながる事業であり、引き続き継続・拡大が図られることを期待します。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	148 児童館・児童クラブ運営諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030205-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	児童福祉法、塩尻市児童館条例				
全体事業概要			事業目的		
保護者が就労等により、昼間在宅しない家庭の増加に伴い、利用が増加する児童クラブ・児童館の運営経費。			子どもの遊びや生活の援助と、地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することです。		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗馬児童館を指定管理として市社協に委託します。 ・ 利用する児童に、健全な遊びと生活の場を提供します。 		
問題点・課題等			事業効果		
児童クラブの4年生以上の利用、時間延長等、利用要望が多様化しています。			児童館・児童クラブを充実させることで、子育てと仕事の両立に対する支援につながります。		
部名	40 こども教育部		課名	20 こども課	

2. 年度別事業費

	単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額
事業費	千円	0	0	28,744	32,330
内 訳	千円			賃金	賃金
		0	0	8,092	10,615
				需用費	需用費
		0	0	4,592	5,321
				役員費	役員費
		0	0	538	1,049
				委託料	委託料
		0	0	14,176	14,430
				その他	その他
0	0	1,346	915		
		0	0	0	
		0	0	0	
		0	0	0	
人件費等	千円	0	0	85,444	83,084
正規職員	人千円	0	0	5.9	42,244
嘱託職員	人千円	0	0	18	43,200
臨時職員	人千円	0	0	0	0
総事業費	千円	0	0	114,188	115,414
財源	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	23,235
	地方債	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	231
	一般財源	千円	0	0	90,722
	合計	千円	0	0	114,188

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

○洗馬児童館の指定管理を塩尻市社会福祉協議会へ委託しました。
 なお前年度、前々年度における児童クラブの利用状況は次のとおりです。

	平成22年度				平成23年度			
	延べ利用人数		登録人数		延べ利用人数		登録人数	
塩尻児童クラブ	13,050	人	99	人	12,801	人	105	人
広丘児童クラブ	10,384	人	86	人	8,069	人	74	人
吉田児童クラブ	8,715	人	63	人	6,341	人	59	人
吉田第2児童クラブ	6,917	人	65	人	6,703	人	63	人
塩尻東児童クラブ	7,150	人	59	人	5,908	人	64	人
宗賀児童クラブ	4,337	人	38	人	4,011	人	33	人
大門児童クラブ	10,520	人	77	人	10,985	人	86	人
洗馬児童クラブ	2,629	人	22	人	2,413	人	26	人
片丘児童クラブ	4,556	人	33	人	4,664	人	33	人
榎川放課後児童教室	4,800	人	44	人	2,873	人	45	人
計	73,058	人	586	人	64,768	人	588	人

4. 内部評価

○近年、延べ利用人数が減少していることや、利用形態に対する利用者からの要望等をふまえ、利用しやすく魅力ある児童館となるよう、次の課題について検討していきます。

- (1) 講座の充実
- (2) 閉館時間の延長
- (3) 児童クラブ利用の有料化

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 子どもを安心して生み育てることができる環境づくりのため、児童館・児童クラブを充実させる必要があるため。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・開館時間の延長については、長時間化への要望に応えるものですが、一方で家庭で過ごす時間が短くなることにより、家庭の教育力の低下につながる懸念、家庭生活における生活習慣の形成・改善に当たっての課題となる要素があるため、配慮を要します。
- ・指定管理制度の効果と課題について十分な検証が必要です。
- ・児童館を拠点として地域での子育て環境の充実にむけた意識の醸成が期待されます。有償ボランティア制度など地域住民が参加する契機となるような事業展開が期待されます。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	101 家庭教育支援事業諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	03 悩みを抱える家庭を支援します				
事業期間	平成18年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030204-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	未設定				
法令等条項	児童虐待の防止等に関する法律				
全体事業概要			事業目的		
児童福祉等に関する複雑多岐にわたる調査、相談及び虐待相談に対応する。 要保護児童対策地域協議会を運営する。 基本的生活習慣の定着を推進する。			悩みを抱える家庭を支援する。		
			事業内容		
問題点・課題等 ・虐待相談等は、毎年複雑化、重篤化している。 ・新規相談と既存相談（終結を除く）の合計対応件数は毎年増加している。			事業効果		
			・悩みを抱える家庭や子どもを早期に支援し、問題の早期解決を図る。 ・児童虐待防止。 ・不登校及び学校不適応生徒への支援。		
部名	40 こども教育部		課名	30 家庭支援室	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費		千円	0	0	2,414	2,894	
	内訳	千円		0	0	賃金	賃金
				0	0	125	358
				0	0	報償費	報償費
				0	0	241	253
				0	0	需用費	需用費
				0	0	624	728
				0	0	委託料	委託料
				0	0	1,171	1,259
		0	0	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料		
	0	0	202	212			
	0	0	その他	その他			
	0	0	51	84			
	0	0	0	0			
	0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	14,320	14,320		
正規職員	人千円	0	0	2	14,320	2	14,320
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	0	16,734	17,214		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	185	233	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	16,549	16,981	
	合計	千円	0	0	16,734	17,214	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 基本的な生活習慣の定着支援を行いました。
 - ◇「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」講演会を開催しました。講師：いわむらかずお氏、期日：6月19日、参加者：171名、内容：「子どもたちに豊かな食と自然の体験、そして絵本の楽しさを」。
 - ◇塩嶺体験学習の家を利用し「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」合宿を実施しました。1泊2日34名。
 - ◇塩尻市内の保育園・幼稚園・小学校の全児童生徒に、「生活記録表」を夏と冬の2回配布しました。
 - ◇「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」アンケートを実施しました。
対象：市内小学校9校の1年生の保護者554人、回答者363人、回収率65.5%。
 - ◇「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」ロゴキャラクター入りポロシャツ着用により事業PRを行いました。
- 育児や教育に不安や悩みを抱えた保護者への支援や、相談を行いました。
 - ◇0～18歳の子どもの保護者からの総合相談窓口として23年度は延べ704件の相談がありました。
 - ◇23年度新規の相談件数は85件でした。内訳：児童虐待相談40件、養護相談19件、不登校相談7件、育児しつけ相談5件、性格行動相談5件、その他の相談9件。
- 児童虐待等に速やかに対応し、関係機関が連携し児童虐待防止に努めました。
 - ◇要保護児童対策地域協議会代表者会議1回、実務担当者会議4回、個別ケース検討会議89回。
 - ◇塩尻駅・広丘駅で虐待防止パンフレットを配布。1000枚。
- 子ども自身が暴力から身を守るためのCAP研修を実施しました。
 - ◇18年度から塩尻市内小学校全校生徒に年次計画で実施しています。
 - ◇23年度：塩尻東小学校、児童(3・4・5年生)279名、教職員26名、保護者57名。
片丘 小学校、児童(3・4・5年生)125名、教職員12名、保護者29名。
宗賀 小学校、児童(3・4・5年生)147名、教職員15名、保護者34名。

4. 内部評価

- 基本的な生活習慣の定着に向け、家庭、地域、学校などが連携し、講演、実践、広報、アンケート調査を実施し、市民の意識啓発につながりました。
- 保護者の皆さんからの様々な相談や要望に対して、関係機関と連携し多様な個別支援を実施しました。しかし一方では、解決や終結となる相談件数を超えて新たな相談が増えている状況です。また重篤なケースも増えています。
- CAP研修は、参加した児童・保護者・教職員から「研修を受けてよかった。」「今日帰って、すぐに実行できることがあった。」等の意見を多数いただき、人権意識の啓発と虐待防止実践につながりました。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 育児や教育に不安や悩みを抱えた保護者の皆さんからの相談は、増加傾向にあります。また児童虐待相談も増加傾向であり、内容も複雑・多様化しております。今後も継続した取り組みが必要です。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・CAP研修は、子どもたちの人権学習の機会として効果が高く評価できる事業です。できるだけ早く、すべての児童が受講できるよう事業の拡大を期待します。
- ・家庭における性暴力が問題化しているため、ここに視点をあてた塩尻市の実態把握及び対応が必要です。
- ・家庭教育支援の必要性が高まっており、事業の継続・拡大にあたり、人的配置の充実が望まれます。

平成24年度事務事業評価(平成23年度実績)

総括表

主要事業数

課等名	主要事業数
社会教育課	3
スポーツ振興課	1
男女共同参画・人権課	2
平出博物館	1
計	7

今後の方針

事業の方向性	主要事業数
1:継続(現状)	6
2:継続(拡大)	
3:継続(縮小)	
4:他事業と統合	
5:休止・廃止	
6:その他見直し	1
計	7

生涯学習部

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	345 全国短歌フォーラム事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	01 市民の芸術文化活動を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100501-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	その他				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
全国の愛好者から短歌を募り、最優秀・優秀賞等の選考、選評を行う「全国短歌フォーラムin塩尻」を開催する。 ・一般の部 ・学生の部			短歌を通じ、塩尻市の文化を全国に発信する。		
			事業内容		
			短歌フォーラムの開催		
問題点・課題等			事業効果		
短歌愛好者の高齢化、短歌愛好者の拡大			全国から、愛好者が集うことにより、「短歌のまち塩尻」を全国に発信することができる。		
部名	45 生涯学習部	課名	10 社会教育課		

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額		
事業費	内訳	千円	0	0	15,923	20,906		
		千円		0	0	臨時職員賃金	臨時職員賃金	
				0	0	681	852	
				0	0	企画演出委託料	企画演出委託料	
				0	0	7,119	7,120	
				0	0	全国短歌フォーラム事業負担金	全国短歌フォーラム事業負担金	
				0	0	8,123	9,200	
				0	0	0	全国短歌フォーラム25回記念書籍データ作成委託料	234
				0	0	0	消耗品費(書籍購入代)	3,500
				0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	9,312	10,744			
正規職員	人千円	0	0	1.2	8,592			
嘱託職員	人千円	0	0	0.3	720			
臨時職員	人千円	0	0	0	0			
総事業費	千円	0	0	25,235	31,650			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	2,000		
	一般財源	千円	0	0	25,235	29,650		
	合計	千円	0	0	25,235	31,650		

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 「全国短歌フォーラムin塩尻一般の部」を開催しました。
 ◇全国の短歌愛好者・短歌結社に短歌募集要項を送付し、投稿を呼びかけました。
 ・投稿者数1,834人 ・投稿数3,496首
 ◇10月1日に現代歌壇を代表する岡野弘彦・馬場あき子・佐佐木幸綱氏の3人を選者に迎え最優秀・優秀作品等の選考・選評を行う「全国短歌フォーラムin塩尻一般の部」を開催しました。
 ・来場者1,200人
 ◇短歌愛好者の拡大を図るため、高校生の優秀作品やユニークな短歌などを紹介する若手歌人によるトークイベントを行いました。
 ◇会場において、そば・ワイン等の塩尻の物産、果物等の販売コーナーを設営し、塩尻市の産業を紹介しました。
- 「全国短歌フォーラムin塩尻学生の部」を開催しました。
 ◇豊かな心と塩尻市に愛着心をもつこどもの育成・地域の人材を活用し短歌を身近に感じてもらう取り組みとして市内小・中・高校において短歌づくり体験教室を開催しました。
 ・市内17校 53教室開催
 ◇11月26日に小島ゆかり・穂村弘氏を選者に迎え、小・中・高学生の短歌の選考・選評を行う「全国短歌フォーラムin塩尻学生の部」を開催しました。
 ・投稿数 10,545首 ・来場者700人

4. 内部評価

- 現代歌壇の第一人者3人を選者とする「全国短歌フォーラムin塩尻」は、全国に誇れる短歌の大会であり、フォーラムの映像をNHKEテレで全国放映することにより、「短歌のまち塩尻」を全国に発信することができました。
 ○豊かな心を育み、他者を理解し共感ができる児童・生徒を育成する取り組みの一助となりました。
 ○フォーラム会場で、ワイン・そば等の塩尻の特産を販売することにより、塩尻市の地域ブランド・特産品をPRすることができました。

指標	単位	年度目標値	実績値
短歌フォーラムへの投稿数	首	3,400	3,496

5. 今後の方針

事業の方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 本事業は開始から26年を迎え、全国的にも定着した短歌の大会です。学習指導要領でも短歌・俳句が取り上げられており、今後発展が見込まれます。全国から愛好者が集うことにより、本市の短歌の文化を全国に発信することができます。また、芸術文化の振興を図るのみでなく、産業・ブランドもPRすることができ、今後も継続すべき事業であります。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・これまでの継続した取組みにより、全国的な大会としての位置付けられる塩尻市を代表する文化事業であり、今後の継続が期待されます。市民に短歌づくりがより浸透していくことが望まれます。
 ・能・狂言・文楽などの日本の伝統芸能とのコラボレーションなどにより、文化事業としての更なる広がりや深まりを期待できます。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	285 公民館事業諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	01 生涯学習を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100503-020000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
生涯学習社会の充実にむけた、公民館活動の推進			現代的課題と地域課題の学習と地域づくりや人づくりのための活動		
			事業内容		
			中央・地区公民館の運営と多様な講座の実施		
問題点・課題等			事業効果		
現代的課題と地域づくりに対応した公民館事業の推進			現代的課題や地域課題の学習など、地域における生涯学習を推進することにより、地域づくりや人づくりへとつなげることができる		
部名	45 生涯学習部	課名	10 社会教育課		

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	0	26,918	28,314	
		千円		0	0	学級講座講師謝礼 1,503	学級講座講師謝礼 1,850
				0	0	公民館事業委託料 14,677	公民館事業委託料 14,676
				0	0	その他 10,738	その他 11,788
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
		人件費等	千円	0	0	66,840	66,840
正規職員	人千円	0	0	9	64,440		
嘱託職員	人千円	0	0	1	2,400		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	0	93,758	95,154		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	552	
	一般財源	千円	0	0	93,758	94,602	
	合計	千円	0	0	93,758	95,154	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 中央公民館は地区の公民館を統括する役割として、定期的な館長主事会や随時の相談を実施し、事業の指導や情報交換を推進しました。
- 中央公民館講座は13講座、延べ70回開催し、1,023人が受講しました。また、地区公民館では207講座、延べ599回開催し、13,110人が受講しました。
- 現代的課題や地域づくりをテーマとした新規講座として防災、環境、資源、相続遺言などをテーマとした新規講座を実施しました。
- 受益者負担の観点から、講座の資料代や材料費、参加負担金の徴収などを改めました。
- 講座参加者自らが運営に関わるように、当番制を導入しました。
- ◇参加者自らが事前準備、資料配布などを積極的に協力し、欠席率が減少しました。

4. 内部評価

- 現代的課題や地域づくりのテーマに関連した講座設定が増加し、時代に即した公民館の役割の強化につながりました。
- 資料代や材料費の費用徴収を始めたことにより、適切な受益者負担に努めました。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の 方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 時代に即した公民館活動を検討し、その役割を一層強化するため、引き続き事業の推進が必要であると考えます。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・市民が企画運営に係わる段階に移行しており、生涯学習の推進が図られています。
- ・地区公民活動がそれぞれの地区のよさを生かした多様性を見せており、地域活性化に向けてさらに機能することを期待します。
- ・より子どもに目を向けた公民館活動の展開により、子育て世代への地域文化活動の拡大が期待できます。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	195 重伝建整備事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	02 地域の歴史・文化をまもり活かします				
事業期間	昭和53年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100512-050000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	2地区以上				
法令等条項	塩尻市伝統的建造物群保存地区保存条例				
全体事業概要			事業目的		
国選定重要伝統的建造物群保存地区塩尻市奈良井及び木曾平沢両地区における整備と伝統的建造物群の保存対策に関する調査 修理・修景、防災施設整備等、関係各種事業を行う。			伝統的建造物群保存地区の整備の推進、支援を図り、もって市民の文化的生活の向上を図る。		
			事業内容 重要伝統的建造物群保存地区の修理・修景事業への補助及び防災施設の整備 伝統的建造物群の保存対策調査		
問題点・課題等			事業効果		
新たな歴史的建造物資産の開拓			重要伝統的建造物群保存地区の整備、活用の促進により本市の文化財的資産の全国発信が可能となる。		
部名	45 生涯学習部	課名	10 社会教育課		

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額		
事業費	千円		0	0	24,614	32,084		
	内訳	千円		0	0	0	設計監理委託料	
				0	0	0	6,069	
				0	0	0	保存対策調査委託料	
				0	0	0	1,500	
				0	0	伝建保存推進事業補助金	伝建保存推進事業補助金	
				0	0	200	200	
				0	0	国宝重要文化財等保存整備事業補助金	国宝重要文化財等保存整備事業補助金	
				0	0	24,100	23,963	
				0	0	その他	その他	
	0	0	314	352				
人件費等	千円	0	0	5,370	10,740			
正規職員	人千円	0	0	0	0.75	5,370	1.5	10,740
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	0	0	29,984	42,824		
財源	国庫支出金	千円	0	0	15,769	19,519		
	県支出金	千円	0	0	354	356		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	0	13,861	22,949		
	合計	千円	0	0	29,984	42,824		

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 伝建地区修理・修景事業を9件実施しました。
 ◇奈良井・木曾平沢の2地区の伝建地区で、奈良井地区では修理1件、修景2件、木曾平沢地区では修理2件、修景4件の文化財保存景観整備を行いました。
- 伝建地区保存審議会を2回開催することができました。
 ◇修理・修景事業、防災施策などの検討を地区組織・学識者の委員により協議されました。
- 事業実施希望者の要望をヒアリングする「町並み相談会」を保存地区ごとに各2回ずつ開催でき、事業化が図られました。
 ◇奈良井地区9名、木曾平沢地区12名の相談がありました。
- 文化庁調査官の現地での確認を2回受け、適正な補助事業が実施できました。
- 伝建整備事業の設計監理にあたる設計士との内容検討会を10回開催できました。

4. 内部評価

- 地区の保存会と共催する「町並み相談会」により事業実施希望者の要望をヒアリングでき、広く住民の要望を事業に反映することができました。
- 修理・修景事業の継続により、文化財的景観整備ができ、探訪者の大規模な増加が図られました。
- 伝建保存審議会の協議を受け、学術面でのレベルの高い事業が推進されました。

指標	単位	年度目標値	実績値
重伝建地区の修理・修景実施数	件	7	9

5. 今後の方針

事業の 方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 文化財としての保存とあわせて活用を考慮する中で、現状での進捗が住民要望とも合致しているため継続するものです。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・木曾平沢地区の整備を進め、奈良井地区との連携による一体的な資源活用が図られることが望まれます。さらに市全域の文化資産を含めた、面としての活用が期待されます。
- ・市民が多く訪れ、歩いて楽しめる町並みや漆器産業のよさを知る機会となるようより一層のPRを期待します。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	48 市民スポーツ振興事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	02 スポーツに親しめる環境と機会をつくります				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100601-060000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
市民みな1スポーツを目指し、誰もが楽しめるスポーツイベントの開催や生涯スポーツの普及、健康・体力づくりの推進、競技スポーツの振興を図る。			スポーツの普及・振興による市民の体力づくりと健康増進を図る。		
			事業内容		
			<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻ぶどうの郷ロードレースの開催 ・ヘルシー・フィジカル教室の開催 ・ファミリースポレクフェスティバルの開催 		
問題点・課題等			事業効果		
ファミリースポレクフェスティバルの事業内容の見直し。			市民のスポーツへの関心が高まり、運動を継続的に行う人が増加する。		
部名	45 生涯学習部		課名	20 スポーツ振興課	

2. 年度別事業費

	単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	千円	0	0	23,117	23,193	
内訳	千円	0	0	健康体力づくり推進事業 講師謝礼	健康体力づくり推進事業 講師謝礼	
		0	0	632	880	
		0	0	健康スポーツ都市宣言事業 委託料	健康スポーツ都市宣言事業 委託料	
		0	0	1,000	900	
		0	0	健康体力づくり推進事業 委託料	健康体力づくり推進事業 委託料	
		0	0	2,768	2,790	
		0	0	その他	その他	
		0	0	18,717	18,623	
		0	0	0	0	
人件費等	千円	0	0	17,448	17,448	
正規職員	人千円	0	0	2.4	17,184	
嘱託職員	人千円	0	0	0.11	264	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	40,565	40,641	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	
	その他	千円	0	0	1,432	600
	一般財源	千円	0	0	39,133	40,041
	合計	千円	0	0	40,565	40,641

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 第3回塩尻ぶどうの郷ロードレースを開催しました。
 ◇定員2,000人の募集に対し市内外より2,060人のエントリーがあり、市体協や地元のボランティア等を含めた大会役員約450人により実施されました。
- ヘルシー・フィジカル教室を開催しました。
 ◇インターバル速歩を中心としたウォーキングと栄養指導等による健康・体力づくりについての正しい知識の習得、運動習慣の定着を目的とした教室を5月～12月の8カ月間実施。教室定員60人に対し53人の参加者がありました。
- 第23回ファミリースポレクフェスティバルを開催しました。
 ◇子どもから高齢者までが気軽にスポーツに親しめるイベントとして開催。当日は雨天のため桔梗小学校体育館での縮小開催となりましたが、約400人の参加がありました。

4. 内部評価

- 塩尻ぶどうの郷ロードレースは、定員を上回るエントリーがあり、スポーツに対する市民の関心を高め、健康体力づくりのきっかけとなると共に市内外に向けて塩尻特産のぶどうや木曾漆器等のPRにつながりました。
- ヘルシー・フィジカル教室は、教室前後に参加者に対して行った血液検査等の値の比較においてコレステロール値や血糖値等の改善が見られると共に参加者の運動習慣の定着につながりました。
- ファミリースポレクフェスティバルは、来場者の減少と固定化が見られるため、子どもから高齢者までが集まり、スポーツに親しむきっかけとなるイベントにするために内容の検討が必要です。

指標	単位	年度目標値	実績値
塩尻ぶどうの郷ロードレースエントリー者数	人	2,000	2,060

5. 今後の方針

事業の方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 健康志向が高まる中、手軽に始められるスポーツとしてウォーキングやランニング等の普及・推進が有効と考えます。また、親子や高齢者がスポーツに親しむ機会の提供も必要であり、ファミリースポレクフェスティバルに新たな種目を導入し、多くの市民の体力増進を図るものです。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・ファミリースポレクフェスティバルは、長年続けてきた事業であり、内容の工夫により充実・継続されることを期待します。
- ・ぶどうの郷ロードレースは、定着と広がりを見せてきているので、市民ランナーの入門者を増やし、育成につなげるような事業展開を期待します。
- ・スポーツイベント中の事故を防ぐために指導体制の確保をさらに図ることが必要です。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	562 社会人権教育推進事業			
総合計画	第四次塩尻市総合計画			
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる			
節	01 人を大切にする心をはぐくむ			
項	01 人権意識を高め人権を守ります			
事業期間		新規/継続	継続	
会計区分	一般	予算科目	1-100104-050000	
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位 0
地区	全市			
法令等条項	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、塩尻市差別をなくし人権を擁護する条例			
全体事業概要		事業目的		
「人権尊重都市宣言」にふさわしいまちづくり実現のため、あらゆる差別の解消をめざす人権教育を推進する。		地域、企業において人権教育を推進し、人権意識の向上につとめる。		
		事業内容		
		人権教育学習会、企業人権教育研修会の開催 人権同和教育集会所学習会の開催 人権同和教育集会所の維持管理		
問題点・課題等		事業効果		
企業での人権教育の推進		地域や企業等において人権について意識が高まる。		
部名	45 生涯学習部	課名	30 男女共同参画・人権課	

2. 年度別事業費

	単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	千円	0	0	849	2,204	
内 訳	千円			人権教育講師謝礼	人権教育講師謝礼	
		0	0	102	227	
				営繕修繕料	営繕修繕料	
		0	0	71	1,265	
				集会所管理委託料	集会所管理委託料	
		0	0	266	266	
				人権教育ビデオ購入費	人権教育ビデオ購入費	
		0	0	46	74	
				分館人権学習会・地区推進会議補助金	分館人権学習会・地区推進会議補助金	
0	0	200	200			
		その他	その他			
0	0	164	172			
		0	0			
0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	13,140	9,560	
正規職員	人千円	0	0	1.5	10,740	
嘱託職員	人千円	0	0	1	2,400	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	13,989	11,764	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	13,989	11,764
	合計	千円	0	0	13,989	11,764

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 地区公民館及び分館で人権学習会を開催しました。
 ◇7地区で人権教育推進会議を、57分館で人権学習会を開催し、1,577人の参加がありました。
- 塩尻市企業人権教育推進連絡協議会加盟事業所への情報提供と研修会を開催しました。
 ◇加盟事業所97社へ、県・市等主催の研修会、講演会の情報提供をしました。
 ◇企業人権研修会を開催し、23社、111人の参加がありました。
- 人権同和教育集会所人権学習会の開催及び集会所の維持管理を行いました。
 ◇人権学習会へは、12人の参加があり、地域住民の集会、サークル活動等で1,111人の利用がありました。

4. 内部評価

- 人権学習会は、地区、区単位で開催することにより、多くの市民に人権問題について考える機会をつくることができましたが、今後さらに、参加人数の増加を図る必要があります。
- 企業人権教育では、市内97社に県・市等の情報を提供し、市内事業所内で人権問題を考える機会をつくることができましたが、今後さらに協議会への加入促進に努める必要があります。

指標	単位	年度目標値	実績値
人権学習会等への年間参加者数	人	1,920	1,700

5. 今後の方針

事業の 方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 より良い地域づくりを進めて行くために、人権意識の向上はなくてはならないものであり、今後とも各地区、各区分館等と連携して学習会への参加者数の増加を図り、事業を継続していく必要があります。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・人権学習会の参加者増加に向けては、団体構成員など動員参加者に留まらず、一般参加者を増加させるような事業展開を期待します。
- ・地区公民館・分館活動との連携により、市民への人権意識の浸透につながるような学習機会の提供を期待します。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	267 やさしく女と男推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	01 人を大切にする心をはぐくむ				
項	02 男女共同参画社会をつくりまします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100508-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	男女共同参画基本法 塩尻市男女共同参画基本条例				
全体事業概要			事業目的		
男女共同参画推進のため講演会の開催、及び市民グループと協働でセミナーや学習会を開催する。			啓発事業を行い、意識の高揚と人材の育成を図る。		
			事業内容		
			男女共同参画推進交流会 地区男女共同参画推進会議 女と男21世紀セミナー 講演会・井戸端会議		
問題点・課題等			事業効果		
地域における男女共同参画の推進			地域における意識の高揚と人材の育成が図られる。		
部名	45 生涯学習部		課名	30 男女共同参画・人権課	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	事業費	千円	0	0	451	638	
	内訳	千円		0	0	手話通訳・保育士賃金	手話通訳・保育士賃金
				0	0	3	37
				0	0	講師謝礼	講師謝礼
				0	0	133	214
				0	0	費用弁償	費用弁償
				0	0	120	145
				0	0	その他	その他
				0	0	195	242
				0	0	0	0
	0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	5,020	5,020		
正規職員	人千円	0	0	0.5	3,580	0.5	3,580
嘱託職員	人千円	0	0	0.6	1,440	0.6	1,440
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	0	5,471	5,658		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	5,471	5,658	
	合計	千円	0	0	5,471	5,658	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 男女共同参画推進交流会を開催しました。
 ◇市内各地域から、100人の参加がありました。
- 地区男女共同参画推進会議を、市内各地区巡回により開催しました。
 ◇北小野地区で開催し、42人の参加がありました。
- 市民ボランティアグループと協働で企画運営する女と男21世紀セミナーでは、男女共同参画基本計画策定記念講演会と井戸端会議を開催しました。
 ◇講演会に100人、地区で開催した井戸端会議に119人の参加がありました。

4. 内部評価

- 男女共同参画推進交流会は、参加者の男女共同参画についての理解を深めることができ、今後地域での活躍が期待できます。
- 男女共同参画推進会議は、地区単位で学習と情報提供を行うことにより男女共同参画に関する知識を広めることができました。
- 女と男21世紀セミナーは、市民ボランティアグループとの協働で企画運営を行うため、ボランティアグループの人材育成になるとともに、市民に親しみやすい啓発事業を行なうことができました。

指標	単位	年度目標値	実績値
男女共同参画社会研修会への年間参加者数	人	650	773

5. 今後の方針

事業の方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 第三次塩尻市男女共同参画基本計画において地域における女性役員の参画促進を重要施策に掲げていますが、区・公民館・PTAなど地域での女性役員の割合は現在約20%であるので、さらなる啓発事業の継続が必要です。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

・交流会などへの参加状況を見ると女性の参加者が多い傾向にあります。男女共同参画の推進に当たっては、男性の意識啓発が重要であり、テーマ設定の工夫などにより男性に参加動機を与えるような事業展開を期待します。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

■ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	154 史跡平出遺跡指定地公有化整備事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	02 地域の歴史・文化をまもり活かします				
事業期間	平成9年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100507-070000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	宗賀				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
平出遺跡公園の整備 ・用地の公有化56,450㎡ ・環境整備事業 縄文、古墳、平安集落の景観復元 ガイダンス棟、防火防犯設備（監視カメラ、炎感知器）、説明施設の整備			平出遺跡の保護と活用		
			事業内容		
			遺跡公園の竣工と活用		
問題点・課題等			事業効果		
整備後の利活用、公園の情報発信と誘客			生涯学習及び観光の中核施設としての活用		
部名	45 生涯学習部		課名	40 平出博物館	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	0	71,816	5,377	
		千円	0	0	史跡平出遺跡環境整備工事	史跡平出遺跡環境整備報告書	
			0	0	70,332	4,700	
			0	0	史跡平出遺跡環境整備工事監理業務委託料	その他	
			0	0	1,176	677	
			0	0	その他		
			0	0	308	0	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
		0	0	0	0		
人件費等	千円	0	0	7,160	2,148		
正規職員	人千円	0	0	1	7,160	0.3	2,148
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	0	78,976	7,525		
財源	国庫支出金	千円	0	0	35,000	0	
	県支出金	千円	0	0	2,800	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	41,176	7,525	
	合計	千円	0	0	78,976	7,525	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 史跡平出遺跡の保存と活用を図るため、平出遺跡公園内の環境整備工事を行いました。
 ◇平出遺跡公園内の環境整備工事を完了しました。
 説明施設工 総合案内板等 一式、植栽工 低木 高木一式、監視カメラ炎感知器設備工 3台

4. 内部評価

- 平出遺跡公園の環境整備の完了により利活用の増加が見込まれます。
 ○平出遺跡公園を活用した多彩な事業展開が可能となります。また、平出一里塚線の開通ともあいまって、周辺地域と平出博物館とも一層の連携強化が図れます。

指標	単位	年度目標値	実績値
平出遺跡公園来場者数	人	14,500	11,374

5. 今後の方針

事業の 方向性		1:継続(現状)	《判断理由》 平出遺跡公園の整備の完了をうけ利活用を積極的に進めるとともに適正な維持管理を行う。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
	○	6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・整備事業が完了し、今後の活用が期待されます。体験的なメニューの充実や他にない魅力的なメニューを展開するとともに、内外へのPR強化により、積極的な利活用が図られるよう期待します。
- ・縄文から古代にかけての人々の生活がイメージできるような展示や体験の工夫が望まれます。

平成24年度事務事業評価(平成23年度実績)

総括表

主要事業数

課等名	主要事業数
総務課	2
市民活動支援課	1
子育て支援センター	2
図書館	1
計	6

今後の方針

事業の方向性	主要事業数
1:継続(現状)	4
2:継続(拡大)	1
3:継続(縮小)	
4:他事業と統合	
5:休止・廃止	
6:その他見直し	1
計	6

市民交流センター

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

■ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	397 市民交流センター管理諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいはをくむ				
項	01 生涯学習を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-020116-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
市民交流センターの機能を十分に引き出すために施設の適切な維持管理を行う。			市民交流センター維持管理運営		
			事業内容		
			施設全体の警備、清掃、駐車場整理業務など市民交流センターに係る維持管理費		
問題点・課題等			事業効果		
利用者の増加に伴う施設の補修など、修繕費の増加			市民交流センターの利便性向上と機能の確保		
部名	35 市民交流センター		課名	10 総務課	

2. 年度別事業費

	単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	千円	0	0	99,567	130,408	
内訳	千円	0	0	施設管理委託料	施設管理委託料	
		0	0	35,595	38,865	
		0	0	駐車場使用料	駐車場使用料	
		0	0	8,026	9,000	
		0	0	駐車場整理業務委託料	駐車場整理業務委託料	
		0	0	2,148	2,241	
		0	0	施設管理分担金	施設管理分担金	
		0	0	52,454	59,529	
		0	0	その他	その他	
0	0	1,344	20,773			
0	0	0	0			
0	0	0	0			
0	0	0	0			
0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	15,022	15,022	
正規職員	人千円	0	0	1.85	13,246	
嘱託職員	人千円	0	0	0.74	1,776	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	114,589	145,430	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	
	その他	千円	0	0	7,175	3,681
	一般財源	千円	0	0	107,414	141,749
	合計	千円	0	0	114,589	145,430

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 市民交流センターの利便性向上に向け、十分な機能確保のための施設の維持管理を行いました。
- ◇施設管理として、清掃については、毎日定期的に会議室・トイレ等の清掃を行うこと、また警備については、毎日の開館・閉館業務及び館内巡回等を行うことで、快適な環境を維持しました。
 - ◇駐車場管理として、管理人による西・北側駐車場の清掃・整備管理等を行うことで、施設利用者への利便性の確保をしました。

4. 内部評価

- 施設管理について、清掃はフロア・会議室・トイレ等、1日3回以上の細部まで行届いた清掃により利用者から好評でした。また警備についても1日8回の巡回により、大きな事故やトラブルはありませんでした。
- 空調システムによるエアコンの常時15%カット及び照明を50%を目安に消灯するなど、夏場の節電も含め適切な維持管理に努めたことにより、昨年度同時期(8月～3月)に比較して、光熱費5.7%(△1,200千円)減少しました。
- 駐車場管理については、管理人を置いていることで駐車場での大きな事故やトラブルはありませんでした。

指標	単位	年度目標値	実績値

5. 今後の方針

事業の方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 さらなる利便性向上に向け、施設の維持管理を継続して実施していきます。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・引き続き快適な環境の維持が図られることを期待します。
- ・若者のマナーについて指導できるような体制が期待されます。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

■ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	157 市民交流センター交流企画事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	01 生涯学習を支援します				
事業期間	平成23年度～平成25年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-020116-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	1	部順位	1
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
えんば一くの基本方針である「機能融合を目指した事業運営」を実現するために、諸機能が有機的に連携した幅広い事業展開を行う。			市民交流センターの利用促進		
			事業内容		
			利用促進のための運営委員報酬、講師謝礼、費用弁償、委託料など事業運営費		
問題点・課題等			事業効果		
市民交流センターの新たな利活用			新たな利用者の確保		
部名	35 市民交流センター		課名	10 総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	0	170,187	48,911	
		千円		0	0	IT講座運営事業等委託料 5,933	IT講座運営事業等委託料 6,300
				0	0	講師謝礼 2,182	講師謝礼 3,000
				0	0	普通旅費 353	普通旅費 135
				0	0	費用弁償 878	費用弁償 2,067
				0	0	消耗品 3,985	消耗品 4,000
				0	0	その他 156,856	その他 33,409
				0	0	0	0
				0	0	0	0
		人件費等	千円	0	0	25,578	25,578
正規職員	人千円	0	0	3.15	22,554		
嘱託職員	人千円	0	0	1.26	3,024		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	0	195,765	74,489		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	135,287	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	1,583	1,091	
	一般財源	千円	0	0	58,895	73,398	
	合計	千円	0	0	195,765	74,489	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

<p>○情報プラザで実施していたパソコン講座を市民交流センターで開催。情報リテラシーの向上支援のためワード・エクセル・インターネットセキュリティ等、基礎から応用までのIT講座を開催しました。</p> <p>◇講座数延べ 66講座 受講者延べ 977人</p> <p>○読書による人づくり事業として、「理科読」「サイエンス教室」、「読み聞かせコミュニケーター育成講座」・「読み聞かせ交流会」など開催しました。</p> <p>◇参加者延べ 1,190人</p> <p>○えんぱーくの基本コンセプトでもある知恵の交流を通じた人づくりの実現に向けて、5つの重点分野について講演会、講座を開催しました。</p> <p>◇参加者延べ 2,194人</p> <p>○「諸機能を生かした人づくり」事業として、それぞれの機能を融合させ、多世代の市民が参加し交流できるための講演会、講座を開催しました。</p> <p>◇参加者延べ 457人</p> <p>○えんぱーくで本物の美術に触れられ、体験・学ぶ、楽しさを共有できる機会と環境の提供として、えんぱーくアートフェスタなどを開催しました。</p> <p>◇参加者延べ 1,371人</p> <p>○市民交流センターに対する周知と利用の向上を目的に、えんぱーく内各関係機関及び大門商店街等と連携し、えんぱーくまつり、木育フェスティバルなどを開催しました。</p> <p>◇参加者延べ 12,576人</p>
--

4. 内部評価

○えんぱーくの基本方針である「機能融合を目指した事業運営」を実現するため、幅広い事業展開を行いました。その結果として、えんぱーく年間来館者数の大幅な増加に繋がり、当初想定40万人が59万余人となり、1年8ヶ月で100万人を達成しました。また、貸館利用者についても年間7万人余の利用があり、昨年度同時期(8月～3月)と比較し6.0%増加しました。

指標	単位	年度目標値	実績値
来館者数	人	50万人	592,929

5. 今後の方針

事業の 方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 市民交流センターの新たな利活用及び新たな利用者の確保に向けた、事業展開を継続的に実施していきます。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・若い世代を中心に多くの利用者があり、評価できます。高齢者が生き生きと活動できるような場所になることが期待され、さらに多世代の交流が図られることを期待します。
- ・商店街の活性化に向けた機能をさらに発揮するよう期待します。

平成24年度 事業評価シート（平成23年度実績）

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	398 協働のまちづくり推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	06 自立と自治の市民社会をともにつくる				
節	01 市民の主体的な活動をひろげる				
項	03 市民公益活動を促進します				
事業期間	平成15年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-020116-050000		
事業区分	ソフト	主管課順位	1	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
地方分権時代に必要とされる自立した自治を目指し、主体的な市民活動を支援し、多様な主体が協働して「これからの公益」を築く仕組みを創造する。 知恵の交流を通じた人づくりの場を基本コンセプトとした、市民交流センターの運営管理方針に掲げる「協働による運営」を推進する。			・主体的な市民活動を促進する ・市民交流センターの協働による運営を推進する		
			事業内容		
			・市民活動団体等の育成と支援 ・市民サポート組織「えんぱーくらぶ」の活動支援		
問題点・課題等			事業効果		
・協働のまちづくり事業の質の向上 ・中間支援機能（インターメディアリー）の充実			・市民の主体性、自主性の向上 ・市民活動団体の活性化		
部名	35 市民交流センター		課名	20 市民活動支援課	

2. 年度別事業費

	単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額
事業費	千円	0	0	5,420	7,196
内訳	千円			市民活動支援業務委託料	市民活動支援業務委託料
		0	0	1,395	1,396
				協働のまちづくり提案公募事業補助金	協働のまちづくり提案公募事業補助金
		0	0	1,400	2,000
				市民交流センター提案公募事業補助金	市民交流センター提案公募事業補助金
		0	0	1,174	1,500
				その他	その他
		0	0	1,451	2,300
		0	0	0	0
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
人件費等	千円	0	0	24,384	24,744
正規職員	人千円	0	0	3	21,480
嘱託職員	人千円	0	0	1.21	2,904
臨時職員	人千円	0	0	0	0
総事業費	千円	0	0	29,804	31,940
財源	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	2,000
	一般財源	千円	0	0	27,804
	合計	千円	0	0	29,804

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 協働のまちづくり提案公募事業により補助金を交付し、市民の幸せに繋がる市民公益活動団体への支援を実施しました。
 - ◇応募団体9団体中事業採択した7団体へ、1,400千円の補助金の交付をしました。
- 市民交流センター提案公募事業により補助金を交付し、市民交流センターを活用した事業への支援を実施しました。
 - ◇応募団体7団体中事業採択した6団体へ、1,173千円の補助金を交付しました。
- 市民活動支援業務の一部を委託し、市民活動団体の育成支援を推進しました。
 - ◇塩尻・サミット開催:20団体延べ60人が参加
 - ◇人材育成講座:地域プロデューサー養成講座5回コース参加者15名中修了書交付12名
 - ◇市民活動団体等の相談:13件
 - ◇その他情報発信:活動団体情報一元化、打合等19団体
- えんぱーくらは、市民活動として市民交流センターの運営及び利用者のサポートを行いました。
 - ◇サポート活動:イベント・講演会の準備・案内、本の返却・託児等
 - ◇自主的な活動:グループ活動、提案事業活動、新たに館内見回り、ミニおしゃべりひろばの開催
 - ◇広報活動:くらぶ活動の市民周知

4. 内部評価

- 協働のまちづくり提案公募事業は、協働のまちづくり基金を活用して、平成18年度の事業開始以来32団体60事業に対しての事業補助金を交付し、市民の幸せに繋がる公益性のある活動を支援してきました。平成23年度7団体に対して補助金を交付しています。
- 市民交流センター提案公募事業は、平成23年度開始した新事業で、市民交流センター運営方針に基づき、市民交流センターを活用した市民活動を支援しました。6団体に対して事業補助金を交付しています。
- 補助金は、市民の主体的な事業を支援するため経済的な支援として有効ではありますが、2事業に類似している点、また、市民のみなさまに内容が分かりにくい点が見られます。

指標	単位	年度目標値	実績値
提案公募事業の年間提案件数	件	15	16

5. 今後の方針

事業の方向性		1:継続(現状)	《判断理由》 提案公募事業の内容を整理統合し、補助金の見直しを検討していきます。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
	○	6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・提案公募事業の意義や目的について市民への浸透を図り、市民交流センターを拠点とした協働のまちづくりに資する市民活動の進展につなげることが望まれます。
- ・公開によるプレゼンテーションの市民傍聴が少なかった。協働のまちづくりを進めるうえで、市民理解や興味をひくようなPRが求められます。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	9 子育て支援センター事業			
総合計画	第四次塩尻市総合計画			
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る			
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる			
項	01 出産・子育ての不安と負担を減らします			
事業期間		新規/継続	継続	
会計区分	一般	予算科目	1-030202-060000	
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位 0
地区	その他			
法令等条項				
全体事業概要		事業目的		
<ul style="list-style-type: none"> ○人づくりの場として支援センター事業の拡充 ・子育て支援講演会の開催と支援講座の充実 ・育てにくい子の相談事業の新設 ○協働して取り組む子育て支援を推進する 		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター事業の運営及び管理 		
		事業内容		
		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター事業管理運営費 		
問題点・課題等		事業効果		
<ul style="list-style-type: none"> ・北部子育て支援センターの老朽化に伴う施設の補修等修繕費の増加 		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの利便性の向上と機能の確保 		
部名	35 市民交流センター	課名	30 子育て支援センター	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額
事業費		千円	0	0	6,645	9,194
内 訳	千円		0	0	臨時賃金	臨時賃金
			0	0	2,627	4,598
			0	0	講師謝礼	講師謝礼
			0	0	428	427
			0	0	消耗品費	消耗品費
			0	0	737	603
			0	0	印刷製本費	営繕修繕費
			0	0	325	396
			0	0	保育費	保育費
	0	0	523	489		
	0	0	郵便料	郵便料		
	0	0	397	386		
	0	0	その他	その他		
	0	0	1,608	2,295		
	0	0	0	一般職員給料・嘱託員報酬は別途計上のため決算額と不一致	一般職員給料・嘱託員報酬は別途計上のため決算額と不一致	
	0	0	0	0	0	
人件費等		千円	0	0	53,880	54,312
正規職員	人千円	0	0	0	5.4	38,664
嘱託職員	人千円	0	0	0	6.34	15,216
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0
総事業費		千円	0	0	60,525	63,506
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	14,032
	県支出金	千円	0	0	105	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	60,420	49,474
	合計	千円	0	0	60,525	63,506

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 子育てにかかわる保護者の不安や悩みを解消するために子育て相談や出前支援を実施しました。
◇子育て相談数:442件 出前支援:65回
- 子育て中の保護者の学習の機会として広い分野での講演及び各種講座を開催しました。
◇講演会:2回開催 参加者延べ320人 各種講座:140回開催 受講者延べ4,611人
- ◇妊婦対象の子育て準備事業を新たに実施し、講座を開催しました。
 マタニティママの子育て準備講座:6回開催 参加者延べ125人
- 地域の子育てサポートとしてファミリーサポート事業を積極的に行ないました。
 また、サポーターのスキルアップに努めました。
◇ファミリーサポート利用件数:463件(昨年比35件増) 会員数:448人(昨年比52人増)
- 乳児家庭への子育て情報紙「パパママレター」及び各種子育て支援案内等の発送を行ないました。
◇発送数:3,870通 対象乳児:1,679人
- 子育てサークル連絡会への援助を積極的に行ないました。
◇サークル数:11 援助回数:2会議 10行事
- 次世代育成及び地域の子育てボランティア育成に取り組みました。
◇中高生の命の学習 1回 ボランティアグループの援助:12回 延べ176人
- 木の玩具を取り入れ、木育推進を開始しました。
◇木の玩具に触れる遊びの会:2回 参加者41人(北部支援センター)

4. 内部評価

- 現在の子育てに必要な事業を多様化させたことから、多くの保護者の利用がありました。
- 日頃の支援では伝達しきれない子育てのノウハウを、専門家や経験者の話す情報とともに交流する機会の設定により、確かな支援となりました。

指標	単位	年度目標値	実績値
プレイルーム利用者数(2支援センター分)	人	25,000人	26,879人

5. 今後の方針

事業の 方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 子育て支援内容を、現況に合ったものに精査しながら、継続的に推進する事業であると考えます。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・出前支援の取り組みは、真に支援を必要としていて支援を受けられないでいた対象者に向けた取組みである点で高く評価できます。
- ・これから子育てをしていく世代に見られる課題への対応を期待します。

平成24年度 事業評価シート（平成23年度実績）

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	46 こども広場事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章 節 項	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
	01 出産・子育ての不安と負担を減らします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030202-240000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	その他				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
○こども広場の施設の安定利用をはかる ・体験型親子遊び環境の充実 ・木に触れ木を使って楽しむ木育事業の推進 ○安心・安全な施設としての維持管理を行なう			・こども広場事業の運営及び管理		
			事業内容		
			・こども広場事業管理運営費		
問題点・課題等			事業効果		
・こども広場の安定利用			・こども広場の利便性の向上と機能の確保		
部名	35 市民交流センター		課名	30 子育て支援センター	

2. 年度別事業費

		単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	内訳	千円	0	0	40,104	42,972	
		千円		0	0	臨時職員賃金 4,330	臨時職員賃金 臨時職員社会保険料 5,035
				0	0	消耗品費 740	消耗品費 465
				0	0	印刷製本費 422	印刷製本費 436
				0	0	駐車場使用料 1,200	駐車場使用料 1,200
				0	0	備品購入費 4,472	施設管理負担金 34,580
				0	0	施設管理負担金 28,425	その他 1,256
				0	0	その他 515	0
				0	0	嘱託員報酬は別途計上の ため決算額と不一致 0	嘱託員報酬は別途計上の ため予算額と不一致 0
		人件費等	千円	0	0	12,624	13,032
正規職員	人千円	0	0	0.6	4,296		
嘱託職員	人千円	0	0	3.47	8,328		
臨時職員	人千円	0	0	0	0		
総事業費	千円	0	0	52,728	56,004		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	4,527	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	784	35,200	
	一般財源	千円	0	0	47,417	20,804	
	合計	千円	0	0	52,728	56,004	

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 未就学児童と家族が年齢に合った体験型の遊び場として市内外から多くの利用者がありました。
◇年間利用者数:54,851人 登録件数:3,924件
- 木の玩具、遊具を取り入れ、木育を推進しました。
◇木に触れ、木を体験する玩具・大型遊具を整備し、特徴的J環境のある施設にしました。
- 定期的に、イベント等を行い恒常的な利用に努めました。
◇職員による遊びの会:48回 4万人目来場者～9万人目来場者達成セレモニー:6回
開館1周年記念イベント 参加人数:300人
木育フェスティバルによる「グッドトイキャラバン」の開催

4. 内部評価

- 遊具の充実やイベントの開催等により、市内外からの安定した利用がありました。
- 木育を推進することで、子育て家庭への「木」への認識を高めました。

指標	単位	年度目標値	実績値
利用者数	人	50,000人	54,851人

5. 今後の方針

事業の 方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 未就学児家庭にとって全天候型の利用しやすい施設であり、継続的に必要な事業であると考えます。遊び環境の充実やその他の支援、交流会やイベントの開催等により、子育て支援施設として一層の利用を高めたいと考えます。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・遊び場に留まらず、母親が相談相手や情報を求めて集う仲間作りの場所として有効に機能しており、評価できる。更なる情報発信機能の充実に期待する。
- ・健康指導の必要性や需要が高まっているので、保健師の配置等が有効と考える。

平成24年度 事業評価シート (平成23年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	370 図書館事業諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	01 生涯学習を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100504-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業目的		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児から高齢者までのあらゆる市民を対象に本の読み聞かせや各種行事を通して読書の普及を図る。 ・ 児童図書や一般図書等の充実を図り、市民の課題解決や読書への関心を高める。 ・ 資料の充実に努め市民ニーズに応じていく。 ・ 本館、分館の図書館機能の充実、整備を図る。 			図書館利用者のために、より良いサービスを提供するため		
			事業内容		
			図書館サービスにかかる根本的な諸経費		
問題点・課題等			事業効果		
広範な利用者ニーズに応じていくための環境の整備			市民の読書環境の充実		
部名	35 市民交流センター		課名	40 図書館	

2. 年度別事業費

	単位	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度決算額	平成24年度予算額	
事業費	千円	0	0	86,656	92,187	
内 訳	千円			図書購入費	図書購入費	
		0	0	30,876	30,893	
				消耗品費	消耗品費	
		0	0	7,998	10,977	
				臨時職員賃金	臨時職員賃金	
		0	0	30,531	31,492	
				電算機器使用料	電算機器使用料	
		0	0	8,279	8,290	
				その他	その他	
0	0	8,972	10,535			
		0	0	0		
		0	0	0		
		0	0	0		
人件費等	千円	0	0	72,780	70,880	
正規職員	人千円	0	0	4.5	32,220	
嘱託職員	人千円	0	0	16.9	40,560	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	159,436	163,067	
財源	国庫支出金	千円	0	0	8,090	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	121	45
	一般財源	千円	0	0	151,225	163,022
	合計	千円	0	0	159,436	163,067

3. 前年度中に実施した事業の具体的な取組み内容及び成果

- 広範なニーズの把握に努めながら、幅広い資料を購入し、多くの資料提供を行ないました。
◇貸出冊数662, 015冊、市民一人当たり貸出冊数9. 8冊
- 課題解決型図書館を目指して、調査相談(レファレンス)について積極的にPRし、多くのレファレンスが寄せられるようになりました。
◇受け付け件数1, 172件
- 図書と連動した企画展示を、館内の複数個所で常時開催し、様々な事象への関心を高めながら読書への関心を高めました。
- 子どもと読書をつなぐため、理科読等の新しい取り組みも含むお話し会や、学校へ出向いて行なうお話しプレゼントなどを積極的に開催しました。
◇参加者数延べ4, 574人
- 市内小中学校の調べ学習や、高校の図書館利用学習を積極的に支援しました。
- 読書と人をつなぐ多様な講演会、講座を開催し、役に立つ図書館づくりを進めました。
◇参加者数延べ392人
- 映画上映会、ライブラリーコンサートなどの新企画に取り組み、本の貸し借りに留まらない新しい図書館像の発信を行ないました。
◇参加者数延べ269人

4. 内部評価

- 個人貸出冊数が前年度から17. 7%増え、市民一人当たりの貸出冊数も8. 3冊(県下1位)から9. 8冊へと増加しました。また、レファレンス数も前年比211%を記録し、課題解決型の図書館としての利用が広がりつつあると考えられます。
- 図書館について、居心地が良い、塩尻に引っ越してきたい、毎日でも来たい等の声が寄せられ、人々が集い、交流する場としての機能が具体化しつつあると考えられます。

指標	単位	年度目標値	実績値
レファレンス数	件	620	1,172

5. 今後の方針

事業の方向性	○	1:継続(現状)	《判断理由》 塩尻市の重要課題として位置付けた中心市街地の活性化と、読書による人づくり、自らの課題を自ら解決できる自立した人づくりのため、その拠点施設としてつくられた図書館の緒についたばかりの活動を一層強化したいと考えます。
		2:継続(拡大)	
		3:継続(縮小)	
		4:他事業と統合	
		5:休止・廃止	
		6:その他見直し	

＜教育委員の評価・意見＞

- ・図書館の充実と利用者の状況はとても好調です。引き続き利用促進が図られるよう期待します。
- ・子どもの読書活動充実に向けて、学校図書館との連携についてさらに取組まれるよう期待します。



**平成23年度
教育委員会自己点検・評価報告書**

平成24年11月

塩尻市教育委員会
(塩尻市こども教育部教育総務課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号
電話 (0263) 52-0280 (代)
HP アドレス <http://www.city.shiojiri.nagano.jp/>
